

報告者：HKFA 審判委員会指導者部
部長 村山尚哉

都道府県審判トレセン3級審判インストラクター認定・更新講習会①

報告書

1. 日 時 令和6年2月12日（月祝）
2. 場 所 小樽市いなきたコミュニティセンター
3. 参 加 者 講 師：村山 尚哉（HKFA 審判委員会指導者部、1級審判インストラクター）
受講者：10名（SI3：9名、FI3：1名）、オブザーバー参加：SI2：4名 計14名
4. 研修内容 **主な講義内容は以下のとおり。**
 - 講義① ・JFA ビジョンとミッション、競技規則の精神
 - 講義② ・自立した魅力ある審判員（ディスカッション）
 - 講義③ ・指導者に求められる役割と資質
 - 講義④ ・審判員のラーニングサイクル
 - 講義⑤ ・審判指導者としての役割（ディスカッション）
 - 講義⑥ ・DOGSO、Impact の考え方、映像を使った勉強会の進め方
 - 講義⑦ ・情報共有：試合結果の決定
 - 講義⑧ ・Refereeing Analysis（概要説明および実践）





総勢 14 名のサッカー、フットサル審判指導者の皆様に参加していただき行なった講習会、皆さんの真剣な眼差しに、講師である自分自身もやる気スイッチ全開で挑みました。講義内容については、上記に記載した内容で行いました。講義②については自身が描く審判員像を明確に捉え、今後の育成に繋げるべくディスカッションを行い、講義⑤では、地区として今後行なっていかなければならない課題や役割についてディスカッションしていただきました。このことにより地区のやるべき事が明確になったと感じています。今後の審判指導発展に向けての一步になれば幸いです。講義⑧では審判指導者として特に求められている『的確な試合分析』について、概要から実践まで時間をかけて取り組んでいただきました。この講習会が小樽地区の審判指導に活かされることを期待しています。

～以下、参加者様からのコメントです～

小樽地区 SI3 富宮行博

講習を受講して、「伝える方法」について考えさせられました。資料の図の使い方・映像の使い方、合わせて言葉の使い方。相手の考えを引き出しながら、言葉の選択と強弱の使い方テーマに持っていく流れ。凄く刺激を受けた講習会でした。また「主審と副審の難しさの共有」というワードについても、今後の自分の審判活動を通して問題意識をもって取り組んで、審判団とのディスカッションにまで落とししていきたいと参考になりました。今後、オブザーバー参加でもかまいませんので、一緒に現場に立たせてもらい、その場の雰囲気を感じながら勉強が出来たらと思いました。あらためてこの場を借りて、指導者部部长 村山尚哉様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

小樽地区 SI3 田口平蔵

この度、小樽地区サッカー協会サッカー3 級インストラクター講習会に参加させていただきました。普段、現役で審判活動をさせていただく上でインストラクターとしての視点をから普段の活動に生かすか考えながら受講することができました。事象の把握や分析、審判員が必要としているフィードバックの手法など学ぶことができ、また、事象の把握や分析については普段実践している審判活動においてフィールドで判定していることを整理する力がさらに必要であると感じました。今回学んだことを生かし、これからの審判活動や審判員育成に努めて生きたいです。

小樽地区 SI3 新川志帆

今回の3 級インストラクター更新講習会では、「自立した魅力ある審判員」について、受講していた方々と互いの考えを共有することができました。日頃、共に活動している中で、こういった話をする機会はめったにないので、自分が考えていたことが整理され、とても勉強になりました。

また、審判指導者としての役割についてもディスカッションしました。女子審判員の活動の場を増やすことや種別の垣根をこえた審判活動についてなど、小樽地区のこれからの課題となることが見えてきました。これらを今後の課題として、取り組むことができるよう、努めていく所存です。